

6 . 今後の対応方針（事務局案）

（１）事業の必要性に関する視点

国道１８号現道の渋滞解消と千曲川^{ちくまがわ}左岸地域の活性化を図るために事業は必要です。

（２）事業進捗の見込みの視点

平成１７年１２月に千曲市大字^{ちくまし}稲荷山^{おおあざいなりやま}から^{おぼすて}県道姨捨停車場線までの延長約２kmについて暫定２車線供用しました。当該事業区間については用地取得率９８．０％（事業進捗率８４．４％）であり、平成１９年度内の暫定２車線開通を目指し事業促進を図っていきます。

なお、杭瀬^{くいせけ}下交差点付近の短期的な渋滞対策として、信号現示の変更を警察と協議していきます。

（３）コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

今後のコスト縮減方法としては、関係機関との調整により橋梁からボックスへ形式変更することでのコスト縮減に努めるとともに、また、プレキャスト製品の採用等による工期短縮を図り、併せて整備効果の早期発現を図ります。

（４）対応方針

当事業は継続が妥当と考えており、平成１９年度内の全線暫定２車線開通を目指し、事業促進を図っていきたいと考えています。